

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、別掲の項目につきまして本年4月より検査方法および基準値等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 変更内容

- 別掲の一覧表をご参照下さい。

#### 変更期日

- 平成31年4月1日(月) 受付日分より



## 検査内容変更項目一覧

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
05383	総分岐鎖アミノ酸/ チロシンモル比 (BTR)	検査方法 報告下限	酵素法 [東洋紡] BCAA : 4 $\mu\text{mol/L}$ 未満 チロシン: 4 $\mu\text{mol/L}$ 未満	酵素法 [東洋紡] BCAA : 15 $\mu\text{mol/L}$ 未満 チロシン: 15 $\mu\text{mol/L}$ 未満	測定試薬の販売中止  (4頁参照)
25705	ソマトメジン-C (IGF-I)	項目コード 検査方法 検体量 報告下限 所要日数	27558 ECLIA [ロシュ・ダイアグノスティックス] 血清または血漿 0.4 mL 7 ng/mL 未満 2~3日	25705 IRMA [富士レビオ] 血清または血漿 0.3 mL 10 ng/mL 以下 3~5日	Non-RIA試薬の採用  (5頁参照)
26628	副甲状腺ホルモンwhole (whole PTH)	項目コード 検査方法 基準値 報告下限 報告上限	27559 ECLIA [ロシュ・ダイアグノスティックス] 14.9~56.9 pg/mL 5.5 pg/mL 未満 100,000 pg/mL 以上	26628 CLEIA [DSファーマ] 8.3~38.7 pg/mL 4.0 pg/mL 未満 999,000 pg/mL 以上	    (6頁参照)
01646	PIVKA- II 《CLEIA》	検査項目名 検査方法 報告下限 報告上限	PIVKA- II 《CLIA》 CLIA [アボット ジャパン] 6 mAU/mL 未満 300,000 mAU/mL 以上	PIVKA- II 《CLEIA》 CLEIA [積水メディカル] 10 mAU/mL 未満 75,000 mAU/mL 以上	   (7頁参照)
07528	抗p53抗体	項目コード 検査方法 検体量 報告下限 報告上限 所要日数	27468 CLEIA [医学生物学研究所] 0.4 mL 0.40 U/mL 未満 2,000 U/mL 以上 2~3日	07528 EIA [医学生物学研究所] 0.3 mL 0.70 U/mL 未満 9,990,000 U/mL 以上 3~6日	測定試薬の販売中止   (8頁参照)
03042	サイトメガロウイルス抗体 IgG《EIA》	項目コード 検査項目名 検査方法 基準値 報告単位 報告下限 報告上限 報告桁数 報告様式 所要日数	27534 サイトメガロウイルス抗体 IgG《CLIA》 CLIA [アボット ジャパン] 陰性(-) 6.0 AU/mL 未満 AU/mL 6.0 未満 (AU/mL) 250 以上 (AU/mL) 小数1位、有効3桁 (-)、(+) 2~3日	03042 サイトメガロウイルス抗体 IgG《EIA》 EIA [デンカ生研] 陰性(-) (EIA価) 2.0 未満 設定なし 2.0 未満 (EIA価) 128.0 以上 (EIA価) 小数1位、有効4桁 (-)、(±)、(+) 3~5日	         (9頁参照)
03045	サイトメガロウイルス抗体 IgM《EIA》	項目コード 検査項目名 検査方法 基準値 報告単位 報告下限 報告上限 所要日数	27537 サイトメガロウイルス抗体 IgM《CLIA》 CLIA [アボット ジャパン] 陰性(-) (S/CO) 0.85 未満 S/CO 0.00 (S/CO) 9,999.99 以上 (S/CO) 2~3日	03045 サイトメガロウイルス抗体 IgM《EIA》 EIA [デンカ生研] 陰性(-) (index) 0.80 未満 設定なし 0.80 未満 (index) $\infty$ (index) 3~5日	         (9頁参照)
04805	HTLV-I抗体 (ATLA抗体) 《確認試験》	項目コード 検査項目名 検査方法 報告様式	27528 HTLV-I抗体《LIA》 ラインプロット法 [富士レビオ] 判定: 陰性・判定保留・ 陽性 判定ライン4種: gp46/gp21/p24/p19 (-・±・1+・2+・3+・4+)	04805 HTLV-I抗体《WB》 ウエスタンプロット法 [富士レビオ] 判定: 陰性・判定保留・ 陽性 バンド4種: gp46/p53/p24/p19 (-・±・+)	測定試薬の販売中止       (10頁参照)

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
26581	トキソプラズマ抗体 IgG《CLEIA》	項目コード 検査項目名 検査方法 基準値 報告下限 報告上限	27540 トキソプラズマ抗体 IgG《CLIA》 CLIA [アボット ジャパン] 陰性(-) 1.6 IU/mL 未満 1.6 未満 (IU/mL) 200 以上 (IU/mL)	26581 トキソプラズマ抗体 IgG《CLEIA》 CLEIA [ベックマン・コールター] 陰性(-) 7.5 IU/mL 未満 3.2 未満 (IU/mL) 450 以上 (IU/mL)	(11頁参照)
26584	トキソプラズマ抗体 IgM《CLEIA》	項目コード 検査項目名 検査方法 基準値 報告下限 報告上限 報告桁数	27543 トキソプラズマ抗体 IgM《CLIA》 CLIA [アボット ジャパン] 陰性(-) (S/CO) 0.83 未満 0.00 (S/CO) 9,999.99 以上 (S/CO) (S/CO) 小数2位	26584 トキソプラズマ抗体 IgM《CLEIA》 CLEIA [ベックマン・コールター] 陰性(-) (S/CO) 0.8 未満 0.1 未満 (S/CO) 9,990,000 以上 (S/CO) (S/CO) 小数1位、有効3桁	(11頁参照)
03025	クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgA & IgG	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量 基準値 報告単位 報告下限 報告上限 報告桁数 報告様式 検査場所	27560 クラミドフィラニューモニエ抗体 IgA EIA [富士レビオ] 0.4 mL 陰性(-) (EIU) 8 未満 EIU 0 (EIU) 150 以上 (EIU) 整数 (-), (±), (+) LSIメディエンス	03025 クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgA & IgG EIA [日立化成] 0.3 mL 陰性(-) (Index) 0.900 未満 設定なし 0.000 (Index) 3.000 以上 (Index) 小数3位 (-), (±), (+), (2+) 日立化成 特殊分析センター	測定試薬の販売中止 ※日立化成外注の IgA & IgGは3月27日 (水) が最終受付日となります。 3月28日 (木)以降、当社で測定を開始するIgAおよびIgGをご依頼下さい。  (12頁参照)
03025	クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgA & IgG	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量 基準値 報告単位 報告下限 報告上限 報告桁数 報告様式 検査場所	27563 クラミドフィラニューモニエ抗体 IgG EIA [富士レビオ] 0.4 mL 陰性(-) (EIU) 30未満 EIU 0 (EIU) 650 以上 (EIU) 整数 (-), (±), (+) LSIメディエンス	03025 クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgA & IgG EIA [日立化成] 0.3 mL 陰性(-) (Index) 0.900 未満 設定なし 0.000 (Index) 3.000 以上 (Index) 小数3位 (-), (±), (+), (2+) 日立化成 特殊分析センター	測定試薬の販売中止 ※日立化成外注の IgA & IgGは3月27日 (水) が最終受付日となります。 3月28日 (木)以降、当社で測定を開始するIgAおよびIgGをご依頼下さい。  (12頁参照)
07311	クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgM	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量 基準値 報告単位 報告下限 報告上限 報告桁数 検査場所	27566 クラミドフィラニューモニエ抗体 IgM EIA [富士レビオ] 0.4 mL 陰性(-) (S/CO) 0.5 未満 S/CO 0.0 (S/CO) 10.0 以上 (S/CO) 小数1位 LSIメディエンス	07311 クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgM EIA [日立化成] 0.3 mL 陰性(-) (Index) 0.900 未満 設定なし 0.000 (Index) 3.000 以上 (Index) 小数3位、有効4桁 日立化成 特殊分析センター	測定試薬の販売中止 ※日立化成外注の IgMは3月27日 (水) が最終受付日となります。 3月28日 (木)以降、当社で測定を開始するIgMをご依頼下さい。  (13頁参照)

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
26211	IgGサブクラス分画	項目コード 検査方法 基準値 報告下限	20112 ラテックス凝集比濁法および 免疫比濁法 [医学生物学研究所] IgG1 351~962 mg/dL IgG2 239~838 IgG3 8.5~140 IgG4 4.5~117 IgG1 150 mg/dL 未満 IgG2 20.0 未満 IgG3 5.5 未満 IgG4 4.5 未満	26211 ネフェロメトリー法 [医学生物学研究所] IgG1 320~748 mg/dL IgG2 208~754 IgG3 6.6~88.3 IgG4 4.8~105 IgG1 7.0 mg/dL 未満 IgG2 8.0 未満 IgG3 5.0 未満 IgG4 3.0 未満	(14頁参照)
26315	IgGサブクラスIgG2	項目コード 検査方法 基準値 報告下限 所要日数	20121 免疫比濁法 [医学生物学研究所] 239~838 mg/dL 20.0 mg/dL 未満 2~5日	26315 ネフェロメトリー法 [医学生物学研究所] 208~754 mg/dL 8.0 mg/dL 未満 3~5日	(15頁参照)
26650	バゾプレシン (AVP)	基準値 備考	水制限 : 4.0 pg/mL 以下 自由飲水 : 2.8 pg/mL 以下 ・溶血の影響により測定 値が変動する可能性が あります。	2.8 pg/mL 以下 ・溶血の影響により測定 値が高値となる可能性 があります。	表記の見直し
05007	TARC	基準値	小児 (6~12ヶ月未満) 1367 pg/mL 未満 小児 (1~2歳未満) 998 未満 小児 (2歳以上) 743 未満 成人 450 未満	小児 (6~12ヶ月) 1367 pg/mL 未満 小児 (1~2歳) 998 未満 小児 (2歳以上) 743 未満 成人 450 未満	表記の見直し
02939	クロストリジウム・ディフィ シル抗原 (Toxin A・B)	検査項目名	クロストリジウム・ディフィ シル毒素検出	クロストリジウム・ディフィ シル抗原	検査項目名称の見 直し
30010	IgE-CAP16《食物アレルギー》	検体量	1.5 mL	1.0 mL	検体量の見直し
30043	IgE-CAP16《アトピー乳幼児》	検体量	1.5 mL	1.0 mL	
30076	IgE-CAP16《アトピー学童》	検体量	1.5 mL	1.0 mL	
30109	IgE-CAP16《アトピー成人》	検体量	1.5 mL	1.0 mL	
30142	IgE-CAP16《花粉症・鼻炎》	検体量	1.5 mL	1.0 mL	
30175	IgE-CAP16《アレルギー性喘息》	検体量	1.5 mL	1.0 mL	
26204	6-チオグアニンヌクレオチド (6-TGN)	報告下限	6TGN 換算値報告 6MMP 換算値報告	6TGN 40 pmol/8×10 <sup>8</sup> RBC 未満 6MMP 40 pmol/8×10 <sup>8</sup> RBC 未満	
02997	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	報告下限	1.5 pg/mL 未満	1.0 pg/mL 未満	
26309	TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量)	報告下限	0.8 IU/L 未満	0.3 IU/L 未満	
03774	CA72-4	報告下限	1.5 U/mL 未満	0.3 U/mL 未満	
01007	11-デオキシコルチステ ロン (DOC)	所要日数	8~21日	8~14日	検査所要日数の見 直し
01008	コルチステロン	所要日数	8~21日	8~14日	
01042	アンドロステロン	所要日数	8~21日	8~14日	
05496	頸管腔分泌液中癌胎児性 フィブロネクチン	所要日数	2~4日	2~3日	
01354	α <sub>1</sub> アシドグリコプロテイン (α <sub>1</sub> AG)	所要日数	2~5日	2~3日	
00241	α <sub>2</sub> マクログロブリン	所要日数	2~5日	2~3日	
00240	α <sub>1</sub> アンチトリプシン (α <sub>1</sub> AT)	所要日数	2~5日	2~3日	
08049	ヒト心臓由来脂肪酸結合 蛋白 (H-FABP)	所要日数	2~8日	2~4日	

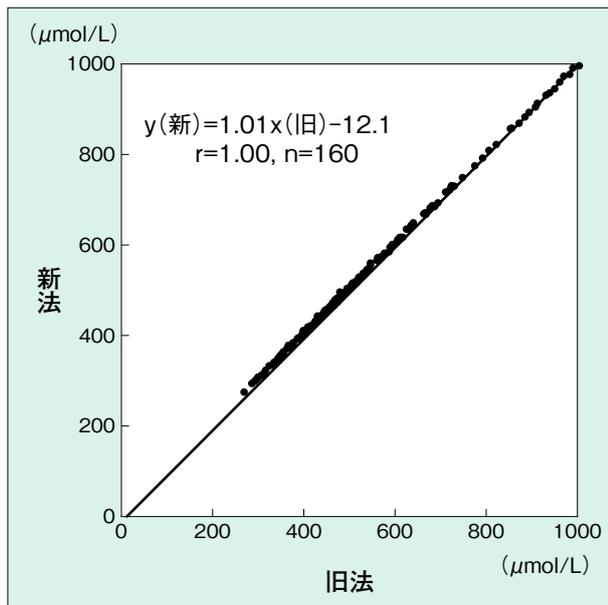
[お知らせ] 本年4月より、「遺伝子・染色体検査等」の検査内容変更を予定しております。  
変更内容につきましては、詳細が決定次第、改めてご案内させていただきます。

# 総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比 (BTR)

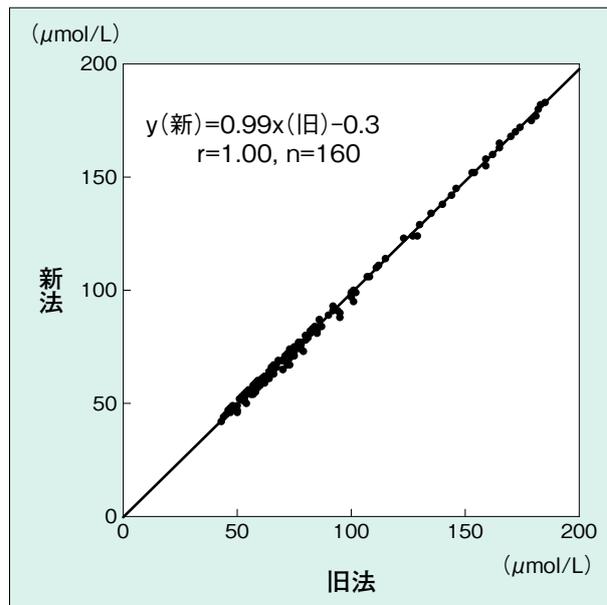
現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売する改良試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はございません。

## 新旧二法の相関

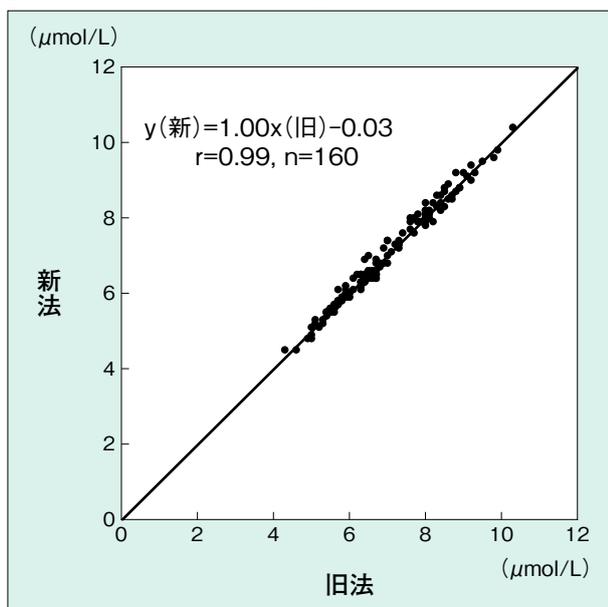
[BCAA]



[チロシン]



[BTR=BCAA/チロシン]



(社内検討データ)

## 参考文献

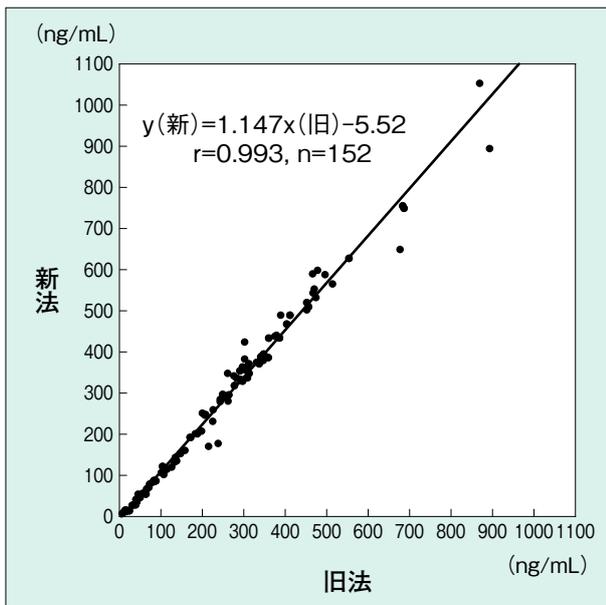
飯塚誠一, 他: 現代医療 26 (増II): 99-107, 1994.

# ソマトメジン-C (IGF-I)

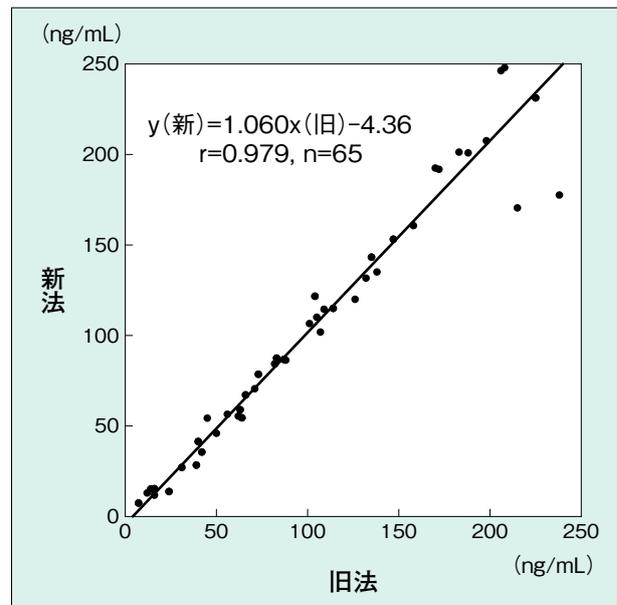
ソマトメジンCの測定試薬を別のメーカーが販売するECLIA法に変更致します。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はございません。

## 新旧二法の相関

【全域】



【低値域】



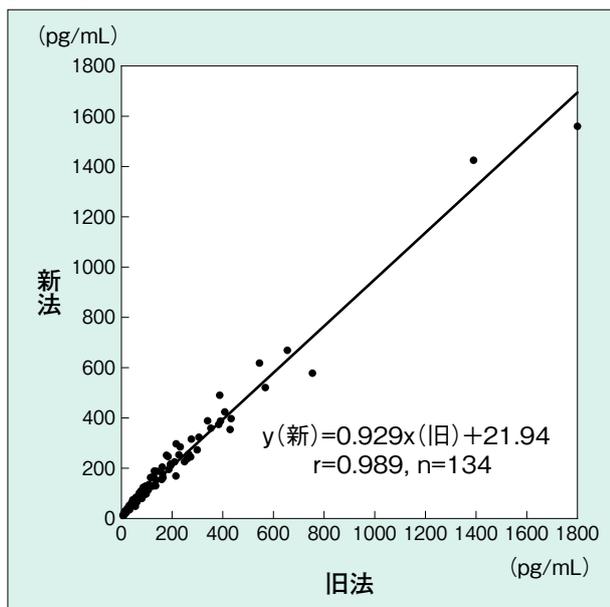
(社内検討データ)

# 副甲状腺ホルモンwhole (whole PTH)

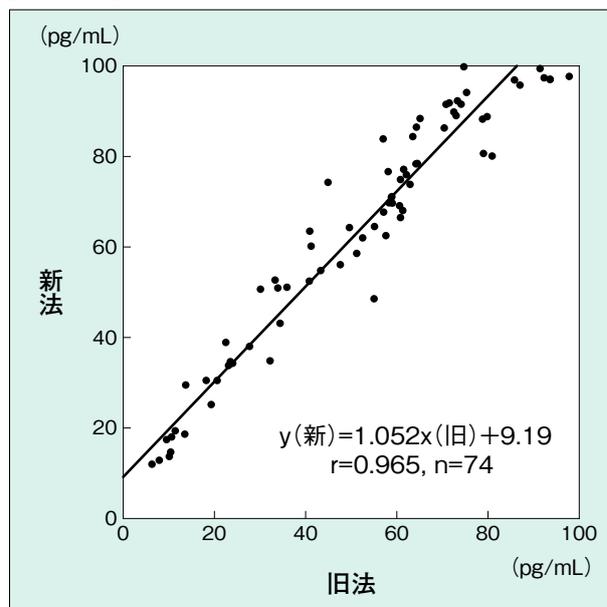
whole-PTHの測定試薬を別のメーカーが販売するECLIA法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好ですが、基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

## 新旧二法の相関

【全域】



【低値域】



(社内検討データ)

## 参考文献

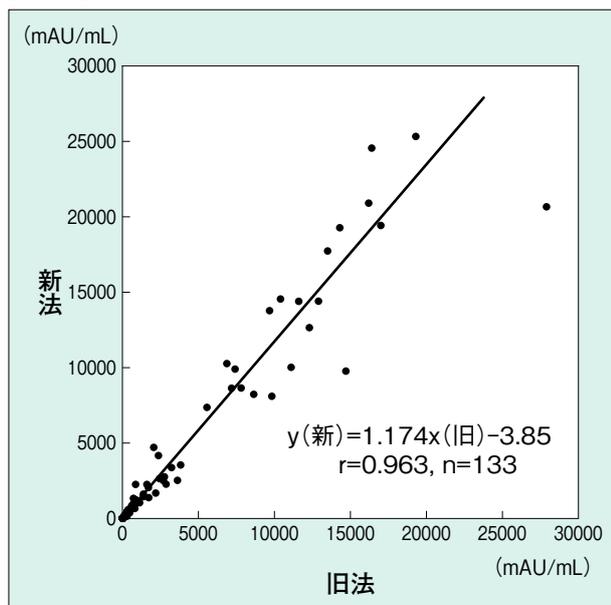
吉野亜紀, 他: 埼臨技会誌 61 (1) : 1-6, 2014.

# PIVKA-II 《CLEIA》

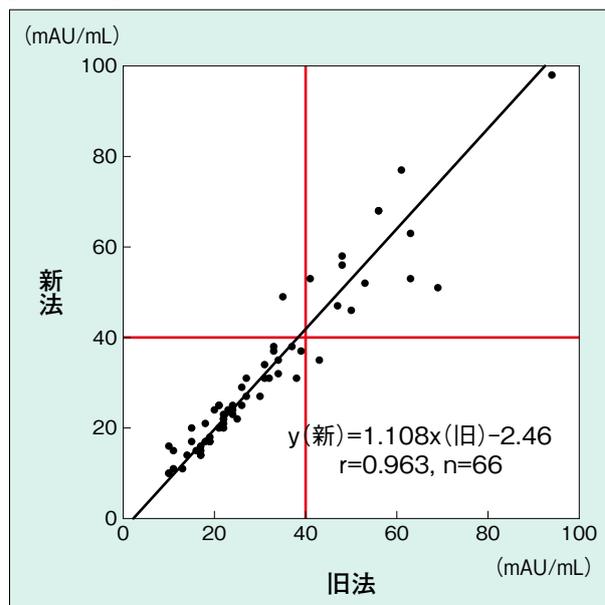
PIVKA-IIの測定試薬を別のメーカーが販売するCLIA法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はございません。

## 新旧二法の相関

【全域】



【低値域】



※赤線：カットオフ値

(社内検討データ)

## 参考文献

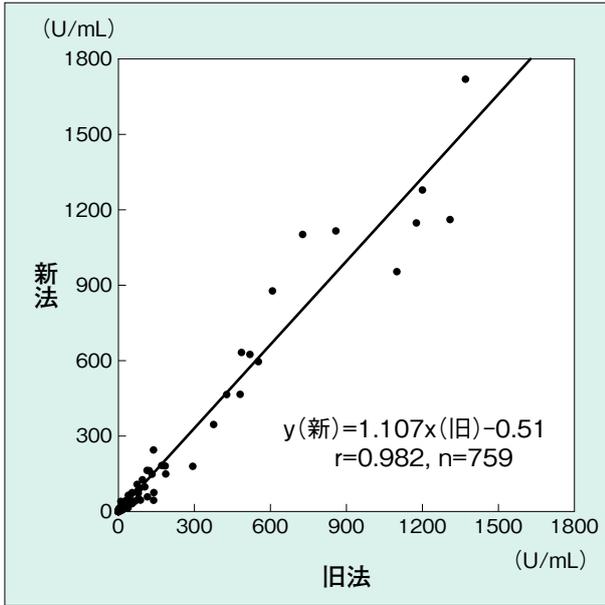
菅原昌章, 他 : 医学と薬学 73 (3) : 293-300, 2016.

# 抗p53抗体

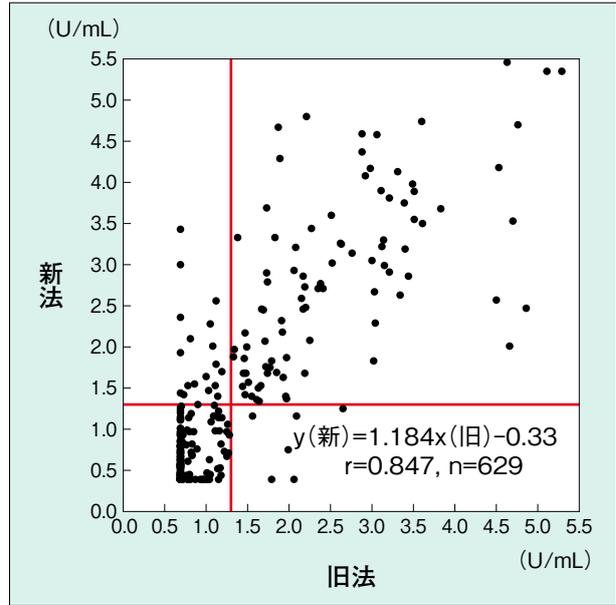
現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売するCLEIA法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はございません。

## 新旧二法の相関

【全域】



【低値域】



※赤線：カットオフ値

## 判定一致率

		旧法		計
		陽性 (+)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	228	20	248
	陰性 (-)	6	505	511
計		234	525	759

陽性一致率：97.4% (228/234)

陰性一致率：96.2% (505/525)

判定一致率：96.6% (733/759)

(社内検討データ)

## 参考文献

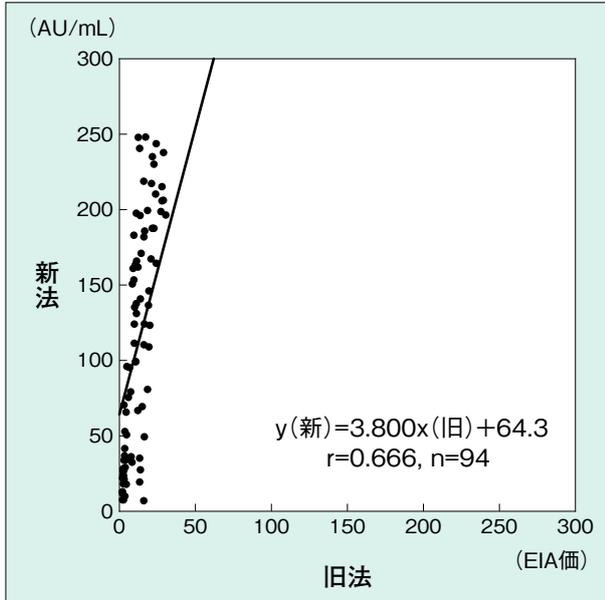
橋本礼輔, 他：医学と薬学 75 (8)：955-964, 2018.

# サイトメガロウイルス抗体 IgGとIgM

サイトメガロウイルス抗体の測定試薬について、別メーカーが販売するより特異性が高いCLIA法試薬に変更致します。なお、変更に伴い基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

## 新旧二法の相関

### 【サイトメガロウイルス抗体 IgG】



### 判定一致率

		旧法			合計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	116	20	0	136
	陰性 (-)	0	1	51	52
合計		116	21	51	188

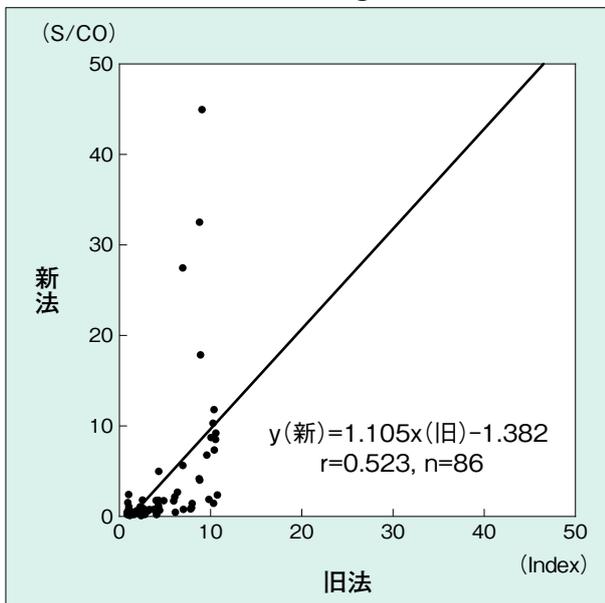
陽性一致率：100.0% (116/116)

陰性一致率：72.2% (52/72)

判定一致率：89.4% (168/188)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

### 【サイトメガロウイルス抗体 IgM】



### 判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	29	3	1	33
	判定保留 (±)	3	0	3	6
	陰性 (-)	27	24	98	149
計		59	27	102	188

陽性一致率：49.2% (29/59)

陰性一致率：96.9% (125/129)

判定一致率：81.9% (154/188)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

(社内検討データ)

## 判定基準

### 【サイトメガロウイルス抗体 IgG】

判定基準	測定値	
	新 (AU/mL)	旧 (EIA価)
陰性 (-)	6.0 未満	2.0 未満
判定保留 (±)	設定なし	2.0 ~ 3.9
陽性 (+)	6.0 以上	4.0 以上

### 【サイトメガロウイルス抗体 IgM】

判定基準	抗体価	
	新 (S/CO)	旧 (Index)
陰性 (-)	0.85 未満	0.80 未満
判定保留 (±)	0.85 ~ 1.00 未満	0.80 ~ 1.20
陽性 (+)	1.00 以上	1.21 以上

### 参考文献

熊田洋高, 他：医学と薬学 72 (6)：1087-1094, 2015.

# HTLV-I抗体（ATLA抗体）《確認試験》

現行試薬の販売中止に伴い、HTLV-I抗体の測定試薬を同一メーカーが販売する判定保留例が少ないラインブロット法試薬に変更致します。本変更に伴い報告様式を変更致します。

## 新旧二法の相関

		旧法 (WB)			合計
		陽性	判定保留	陰性	
新法 (LIA)	陽性	20	0	0	20
	判定保留	0	0	0	0
	陰性	0	9	50	59
合計		20	9	50	79

陽性一致率：100.0% (20/20)

陰性一致率：100.0% (59/59)

全体一致率：100.0% (79/79)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

(社内検討データ)

### 【判定基準】

ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる (≧±)	gag p19かgag p24か env gp46のいずれかが認められる	陰性
	env gp21が認められる	保留
ラインが2本認められる (≧±)	env gp21が認められない	保留
	env gp21が認められる	陽性
ラインが3本以上認められる (≧±)		陽性

### 参考文献

Zrein M, et al. : Clin Diagn Lab Immunol. 5 (1) : 45-49, 1998.

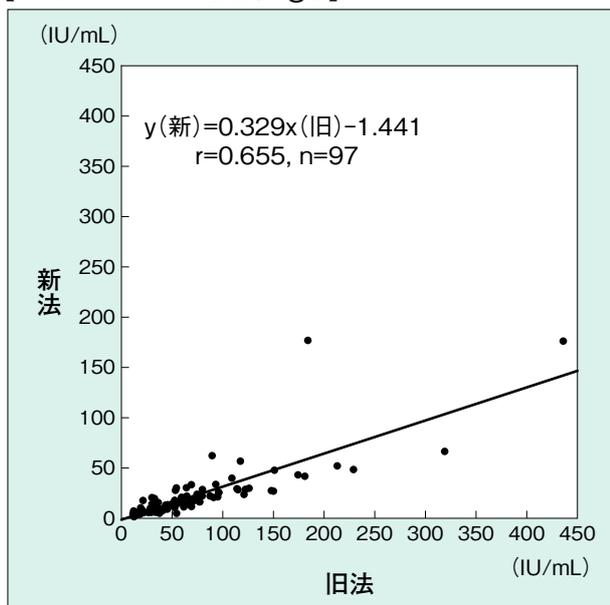
Umeki K, et al. : Clin Lab. 63 (2) : 227-233, 2017.

# トキソプラズマ抗体 IgGとIgM

トキソプラズマ抗体の測定試薬について、別のメーカーが販売するより特異性が高いCLIA法試薬に変更致します。なお、変更に伴い基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

## 新旧二法の相関

### 【トキソプラズマ抗体 IgG】



### 判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	98	0	0	98
	判定保留 (±)	1	0	0	1
	陰性 (-)	0	0	60	60
計		99	0	60	159

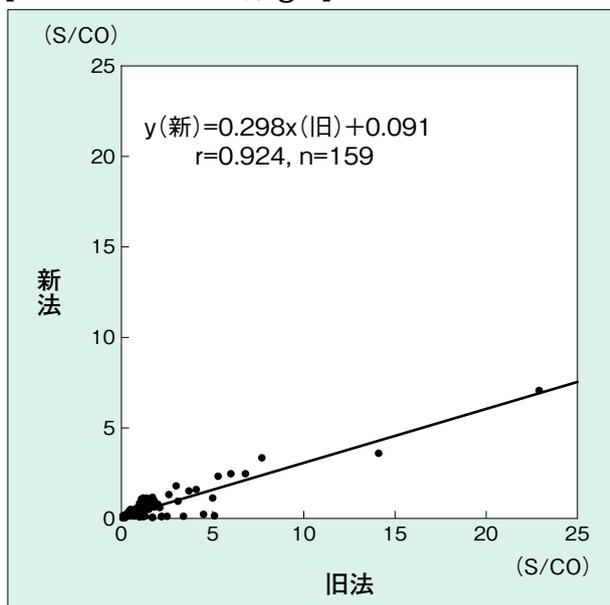
陽性一致率：99.0% (98/99)

陰性一致率：100.0% (60/60)

判定一致率：99.4% (158/159)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

### 【トキソプラズマ抗体IgM】



### 判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	16	0	0	16
	判定保留 (±)	6	0	0	6
	陰性 (-)	32	2	103	137
計		54	2	103	159

陽性一致率：29.6% (16/54)

陰性一致率：100.0% (105/105)

判定一致率：76.1% (121/159)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

(社内検討データ)

## 判定基準

### 【トキソプラズマ抗体 IgG】

判定基準	測定値	
	新 (IU/mL)	旧 (IU/mL)
陰性 (-)	1.6 未満	7.5 未満
判定保留 (±)	1.6 ~ 3.0 未満	7.5 ~ 10.5 未満
陽性 (+)	3.0 以上	10.5 以上

### 【トキソプラズマ抗体 IgM】

判定基準	抗体価	
	新 (S/CO)	旧 (S/CO)
陰性 (-)	0.83 未満	0.8 未満
判定保留 (±)	0.83 ~ 1.00 未満	0.8 ~ 1.0 未満
陽性 (+)	1.00 以上	1.0 以上

### 参考文献

Sickinger E, et al. : Diagn Microbiol Infect Dis. 62 (3) : 235-244, 2008.

# クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体 IgA&IgGとIgM

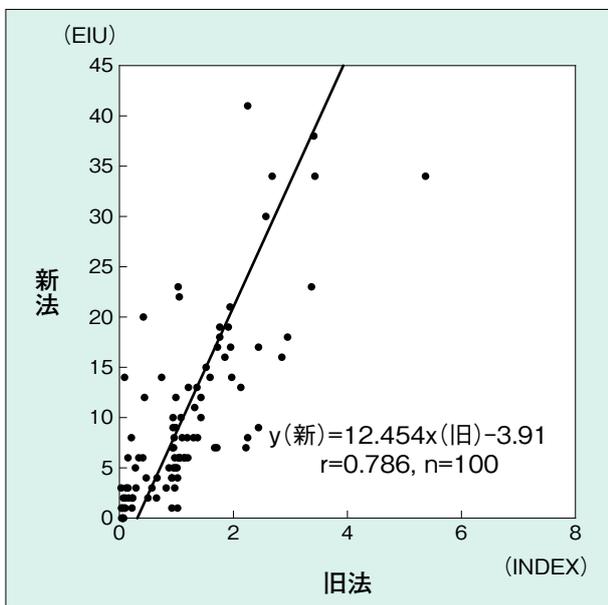
クラミドフィラニューモニエIgA&IgGおよびIgMの委託先(日立化成)での検査中止により、別のメーカーが販売するEIA法試薬を用いて、当社にて検査を実施致します。なお、変更に伴い基準値を試薬の添付文書記載値に変更致します。

## 【留意事項】

日立化成特殊分析センターに委託している「クラミドフィラ (クラミジア) ニューモニエ抗体」は、3月27日(水)をもって検査受託を中止致します。3月28日(木)より、当社で検査を開始する「クラミドフィラニューモニエ抗体」をご依頼下さい。(4月1日より検査致します)

## 新旧二法の相関

### 【クラミドフィラニューモニエIgA】



### 判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	25	2	3	30
	判定保留 (±)	9	6	2	17
	陰性 (-)	6	16	31	53
計		40	24	36	100

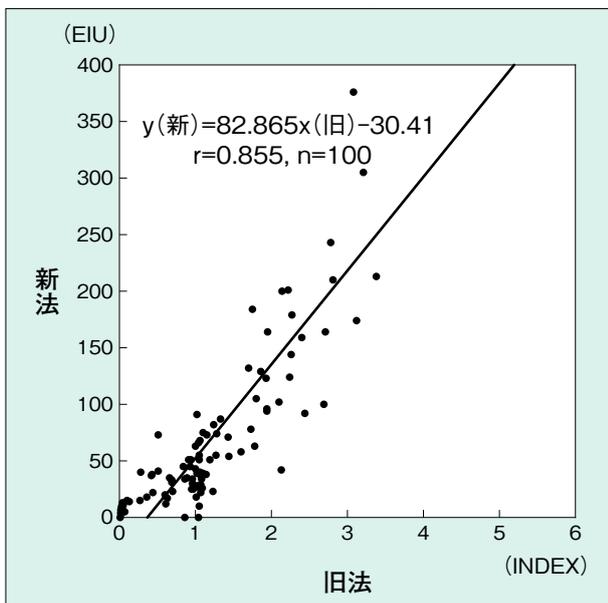
陽性一致率：62.5% (25/40)

陰性一致率：91.7% (55/60)

判定一致率：80.0% (80/100)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

### 【クラミドフィラニューモニエIgG】



### 判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	36	-	9	45
	判定保留 (±)	3	-	18	21
	陰性 (-)	1	-	33	34
計		40	-	60	100

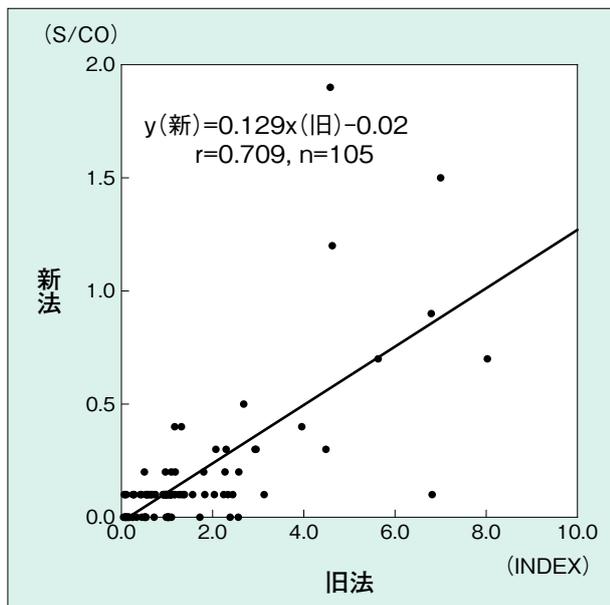
陽性一致率：90.0% (36/40)

陰性一致率：85.0% (51/60)

判定一致率：87.0% (87/100)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

【クラミドフィラニューモニエIgM】



判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	3	0	0	3
	判定保留 (±)	4	0	0	4
	陰性 (-)	29	30	39	98
計		36	30	39	105

陽性一致率： 8.33% (3/36)  
 陰性一致率： 100.0% (69/69)  
 判定一致率： 68.6% (72/105)

【判定保留を陰性に集計した場合の一致率】

(社内検討データ)

判断基準

【クラミドフィラ・ニューモニエ抗体 IgA、IgG、IgM】

判定基準	測定値		
	IgA (EIU)	IgG (EIU)	IgM (S/CO)
陰性 (-)	8 未満	30 未満	0.5 未満
判定保留 (±)	8 ~ 12	30 ~ 45	0.5 ~ 1.1
陽性 (+)	13 以上	46 以上	1.2 以上

参考文献

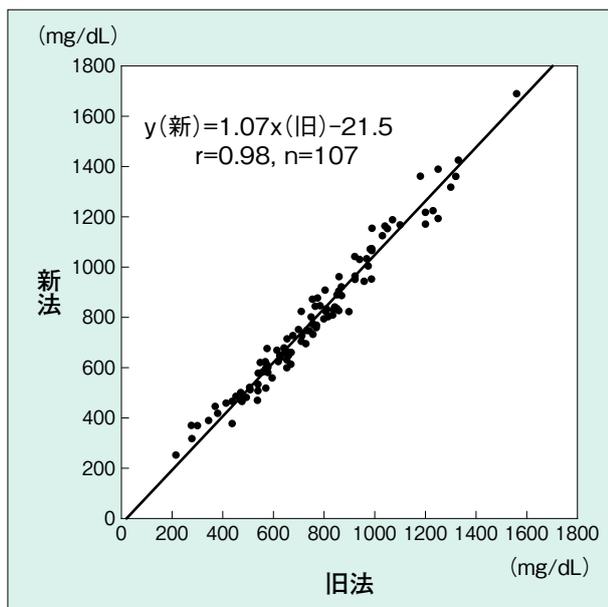
宮下修行, 他 : 小児科診療 71 (1) : 95-99, 2008.  
 Miyashita N, et al. : J Infect Chemother. 21 (7) : 497-501, 2015.

# IgGサブクラス分画

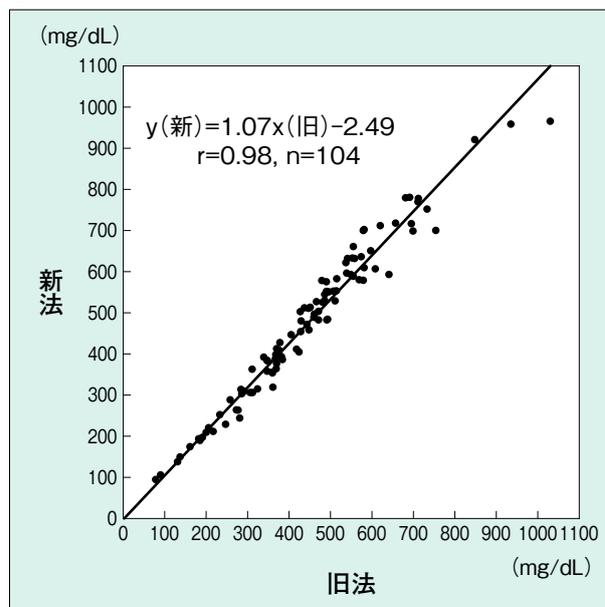
IgGサブクラス分画の試薬を同一メーカーが販売するラテックス凝集比濁法および免疫比濁法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好ですが、基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

## 新旧二法の相関

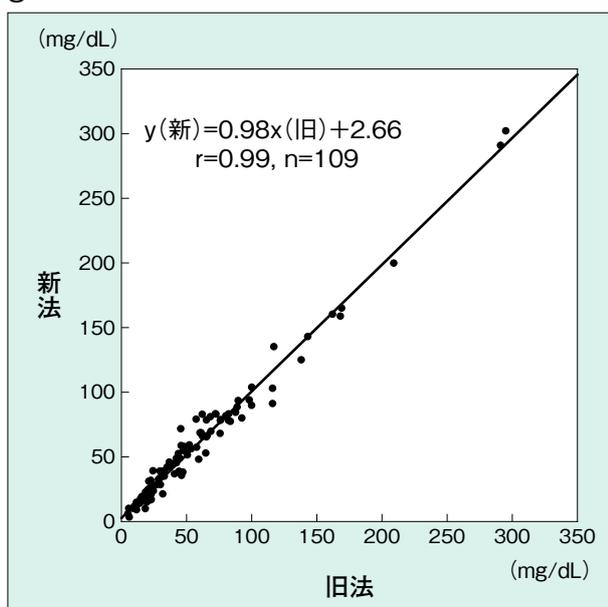
IgG1



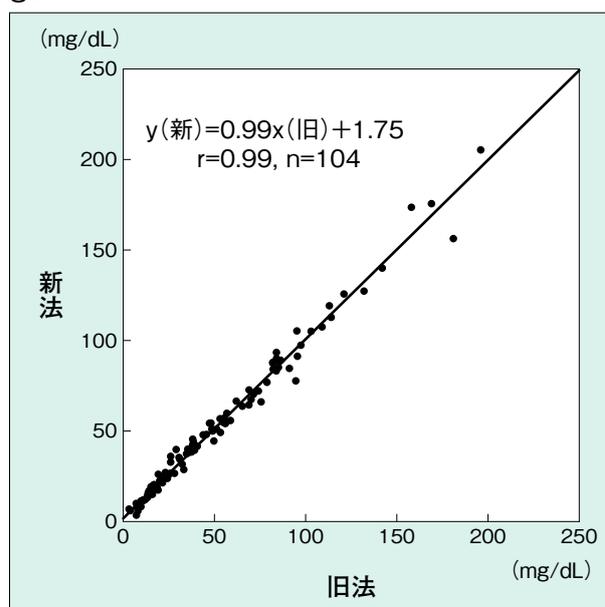
IgG2



IgG3



IgG4



(社内検討データ)

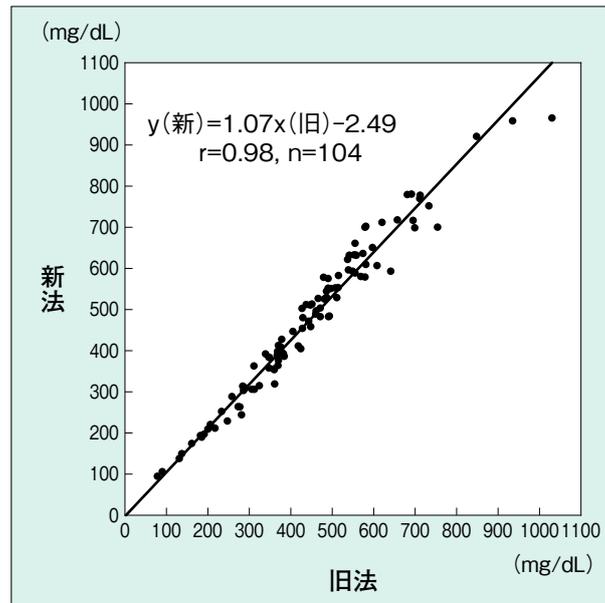
## 参考文献

川茂幸, 他 : 医学と薬学 74 (4) : 463-470, 2017.

# IgGサブクラスIgG2

IgGサブクラスIgG2の試薬を同一メーカーが販売する免疫比濁法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好ですが、基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

## 新旧二法の相関



(社内検討データ)

## 参考文献

川茂幸, 他 : 医学と薬学 74 (4) : 463-470, 2017.